

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : インサルパック防蟻フォーム  
推奨用途及び使用上の制限 : ポリウレタンフォーム  
総 販 売 元 : 株式会社 エービーシー商会  
住 所 : 東京都千代田区永田町 2 丁目 1 2 番 1 4 号  
担 当 部 門 : インサル事業部  
電 話 番 号 : 03-3507-7240  
F A X 番 号 : 03-3581-4946

整理番号 : IPBF001

作成 2014年 2 月 1 日

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類:

物理化学的危険性	高圧ガス	液化ガス（引火性）
	可燃性・引火ガス	区分 1
人健康有害性	急性毒性（吸入）	区分 2
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	区分 1
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	区分 3 気道刺激性
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	区分 3 麻酔作用
	吸引性呼吸器有害性	区分 1 呼吸器
環境有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

絵表示又は  
シンボル:

注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール  
吸入すると生命に危険（気体、蒸気、粉じん及びミスト）  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸器困難を起こすおそれ  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
発がんのおそれの疑い  
呼吸器への刺激のおそれ  
長期又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き:

【安全対策】  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。

-禁煙。

裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

口をすすぐこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

日光から遮断すること。50℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 物 質 の 特 定

単一製品・混合物 : 混合物

化学名 : 発泡ウレタン樹脂

成 分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法、労安法)
メチレンビス (4,1-フェニレン) =ジイソシアネート	5～15	101-68-8	(4)-118
(ポリメリック)MDI	25～35	9016-87-9	(7)-872
ポリエーテル	15～25	25322-69-4	(7)-129
塩素化パラフィン類	1～10	63449-39-8	-
トリス(1-クロロ-2-プロピル)リン酸	1～10	13674-84-5	(2)-1941

ペパーミントオイル	<3	8006-90-4	-
デルタメトリン	<1	52918-63-5	4-(7)-2105
ジメチルエーテル	1～5	115-10-6	(2)-360
石油留分	10～20	68476-85-7	-

---

#### 4. 応 急 措 置

---

- 目に入った場合：直ちに流水で連続15分以上洗眼を続ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに多量の水で洗い流す。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
汚染された衣類を脱ぐこと。
- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難のときは救急員によって酸素を与える。医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：医師の診断を受ける。  
口をすすぐこと。  
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
飲み込んだり、曝された人が意識がある場合は、少量の水を飲ませる。  
嘔吐する危険があるので、体調不良を訴えた場合には中止する。  
医師の指示が無ければ、嘔吐させてはならない。  
嘔吐した場合は、嘔吐物が肺に入らないように頭を低くする。  
意識の無い人には何も与えない  
もし意識が無い場合、回復体位を取り、医師の診察を直ちに受ける。  
気道を確保する。襟、ネクタイ、ベルトなどを緩める。

---

#### 5. 火 災 時 の 措 置

---

- 消 火 剤：火災区域を立入禁止にする。風下および低地に止まらない。放水は避けるべきだが、他の消火剤がないときは、細放水で大量にかける。物質が燃焼している場合は二酸化炭素、粉末消火薬剤または泡消火薬剤を使用する。
- 消 火 剤：二酸化炭素、粉末消火薬剤、泡消火薬剤、水噴霧ないし細放水。
- 特 別 な 注 意：この製品は水と反応し、熱およびガスを発生する。火災時にはガス発生で容器が破裂することがある。熱せられた液体に直接放水すると激しく蒸気が発生し、突沸することもある。できれば消火水の流出を防ぐ。火災にさらされた容器は鎮火後も水をかけて冷却する。火災時には濃厚な煙が発生する。
- 保 護 具：自給式空気呼吸器（SCBA）および防火用保護衣（ヘルメット、防火服、防火ずきん、靴、手袋）を着用する。物質と接触する可能性のあるときは、化学用の防護衣とSCBAを着用するが、これらは防火に不十分なので、安全な位置から消火にあたる。

---

## 6. 漏 出 時 の 措 置

---

人に対する注意事項：物質への接触をさけ、漏洩区域にバリケードをつくり、不要な人の立ち入りを禁止する。汚染除去作業者は適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：土壌、表水、地下水を汚染しないように漏洩物を囲い込む。河川、下水、上水源に流入しないようにする。

回収：可能なら流出物を囲い込む。少量の場合、吸収剤(適切な物が無い場合は、土を使用するのが良い)、すくい上げて廃棄のために密閉された、耐薬品性のある容器に入れる。  
大量の場合、流出物を堰き止めるか、さもなければ水路に流れ込まないように流出物を抑える。

---

## 7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

---

取扱い上の注意事項  
保管上の注意事項：飲み込まないようにする。眼、皮膚、衣服に触れないようにする。容器は密閉する。使用時には適切な換気を行う。蒸気やミストを吸いこまないようにする。取扱い後は、きれいに洗い落とす。  
：保管時は容器はしっかりと密閉する。  
冷暗所に保管する。

---

## 8. ば く 露 防 止 措 置

---

許容濃度：メチレンビス(4,1-フェニル)ジイソシアネート：日本産業衛生学会 0.05 mg/m<sup>3</sup>  
ACGIH 0.005ppm(TWA)  
石油留分：ACGIH 1,000ppm(TWA)  
(1,800mg/m<sup>3</sup>)

設備対策：換気を十分に行っている時のみ使用する。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。全体換気や局所排気を行い、空気中濃度をばく露ガイドライン未満に抑制する。排気システムは、蒸気・エアゾール発生源およびその場所で作業する人々から空気が流れさるように気流を設計する。この物質の臭いおよび刺激性は、過剰ばく露を警告するには不十分である。

保護具：呼吸器の保護；許容濃度を超えないように管理しなければならない。許容濃度を超える恐れがある場合は、認可された防塵機能付有機ガス用空気清浄呼吸器を使用する。空気中の濃度が空気清浄呼吸器の有効濃度限界を上回る恐れがある場合は、陽圧空気供給呼吸器(エアライン式または自給式)を使用する。緊急対応時または空気中の濃度が不明の時は、認可された陽圧自給式呼吸器か、補助空気ボンベ付陽圧エアラインを使用する。密閉した場所または換気の不十分な場所では、認可された自給式呼吸器を使用するか、補助空気ボンベ付陽圧エアラインを使用する。以下は効果的な空気清浄呼吸器の種類である：防塵フィルター付き有機ガス用

眼・顔面の保護；ケミカルゴーグルを使用する。顔面シールド。作業場所のすぐ近くに洗眼器を設置する。

皮膚の保護；この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。衣類は洗濯し

てから再使用するか、適切に廃棄する。靴、ベルト、時計のバンドなど、汚染除去できない品物は取り除き、適切に廃棄する。手袋を着用する。

手の保護 ; この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。

望ましい手袋の素材の例：ブチルゴム、ポリエチレン、塩素化ポリエチレン、エチルビニルアルコールアミレート (EVAL) 許容できる手袋の素材の例：バイトン。ネオプレン。天然ゴム (ラテックス) ポリ塩化ビニル (PVC またはビニル) ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)

注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

---

## 9. 物 理 / 化 学 的 性 質

---

物理的状态	: フォーム	色	: 薄青
臭 い	: 特有の臭い	臭いのしきい値	: データなし
pH	: データなし	凝固点	: データなし
融 点	: データなし	沸点・初留点及び	: データなし
引火点	: <-56℃ (石油留分)	沸騰範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし	蒸発速度	: データなし
比重 (H2O=1)	: 1.16±0.05	空気中での燃焼限界	: 上限 データなし
n-オクタンール	: データなし		: 下限 データなし
/水分分配係数	:	蒸気密度	: データなし
分解温度	: データなし	溶解度	: 不溶性
粘度 (粘性率)	: データなし	自然発火温度	: 自己発火しない
	:		

---

## 10. 安 定 性 及 び 反 応 性

---

安 定 性 : 推奨される保管条件下で安定している。（第7項、保管を参照）

避 け る べ き 条 件 : これ以上の温度は避ける：116℃。高温では、容器が裂けたり破裂することがある。高温にさらされると製品は分解する。

有 害 な 分 解 生 成 物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。

危 険 な 重 合 反 応 : 以下との接触は避ける：酸類 アルコール類。アミン類。アンモニア。塩基類。金属化合物。強酸化剤類。TDIおよびMDIのようなジイソシアネート基をもつ製品は多くの物質と反応し、熱を放出する。反応速度は温度上昇および接触の増加により加速する。こうした反応は激しいものになる可能性がある。攪拌や他の物質が溶剤の働きをする場合に、接触する機会が増加する。TDIやMDIのようなジイソシアネートを含有する製品は、水に不溶で、下に沈むが、境界面ではゆっくりと反応する。反応により、二酸化炭素ガスおよび固体ポリウレア層を生成する。水と反応して二酸化炭素および熱が発生する。

そ の 他 : 特になし

---

## 11. 有 害 性 情 報

---

急性毒性	： 経口	； ラット LD50 31600mg/kg 以上
	吸入(粉塵、ミスト)	ラット LC50 (4 時間) 0.369 mg/L (MDI) 吸入すると生命に危険
皮膚腐食性 / 刺激性	： 長期間の接触で、局所発赤を伴う中等度の皮膚刺激作用を起こすことがある。物質が皮膚に付着すると、除去時に皮膚を刺激することがある。皮膚に付着すると着色して見えることがある。	
眼に対する重篤な損傷/刺激性	： 眼を刺激することがある。軽度の一過性角膜損傷を起こすことがある。	
呼吸器感作性・皮膚感作性	： アレルギー性呼吸反応を示すことがある。MDIにすでに感作していると、暴露ガイドラインを下回る濃度でアレルギー性呼吸反応を来すことがある。咳や呼吸困難、胸を締め付けられた感覚を含む喘息のような症状。時には、呼吸困難による生命の危険の恐れがある。皮膚接触によりアレルギー性皮膚反応を示すことがある。動物実験では、イソシアネートの皮膚接触による呼吸感作性の可能性を示した。	
生殖細胞変異原性	： MDI；体細胞を用いるin vivo変異原性試験であるヒトの末梢血リンパ球における染色体・小核分析及びマウス赤血球を用いる小核試験で陰性の結果がある。	
生殖毒性	： 関連のあるデータは得られていない	
変異原性	： ジメチルエーテルは、In Vitroで陽性。動物実験では陰性・陽性の結果がある。MDIはIn Vitroのテスト法によって弱い陽性、ないし陰性の結果がある。In Vitroの試験結果は陰性。	
発がん性	： MDI およびポリメリック MDI のエアゾールに反復過剰暴露すると、実験動物において上気道および肺の組織障害が認められた。動物で下記の臓器に影響があると報告されている成分を含有する：腎臓。肝臓。	
反復投与毒性	： MDI およびポリメリック MDI のエアゾールに反復過剰暴露すると、実験動物において上気道および肺の組織障害が認められた。動物で下記の臓器に影響があると報告されている成分を含有する：腎臓。肝臓。	
吸引性呼吸器有害性	： 物性上、吸引性呼吸器有害性は低い。	
その他の	： 高濃度の吸入暴露を受けると、上部呼吸器および肺の組織に障害を起こす。	

## 12. 環境影響情報

<環境中での分解性・移動性、生物への蓄積>

### 成分のデータ：(ポリメリック)MDI

測定された環境毒性は、一般に可溶性物質の生成が最大となる条件下での加水分解物の毒性である。物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。  
魚類に対する急性および長期毒性

類似物質の情報による： LC50, *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ), 止水式試験, 96 h: > 1,000 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

類似物質の情報による： EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 止水式試験, 24 h: > 1,000 mg/l

水生植物に対する毒性

類似物質の情報による： NOEC(無影響濃度), *Desmodesmus subspicatus*, 止水式試験, 生長率阻害, 72 h: 1,640 mg/l

微生物に対する毒性

類似物質の情報による： EC50, 活性汚泥 (OECD 209), 呼吸抑制, 3 h: > 100 mg/l

土壌生物に対する毒性

EC50, *Eisenia fetida* (ミミズ), 14 d: > 1,000 mg/kg

#### 成分のデータ： 4,4'-メチレンジフェニルジイソシアネート

測定された環境毒性は、一般に可溶性物質の生成が最大となる条件下での加水分解物の毒性である。物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で

LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

魚類に対する急性および長期毒性

類似物質の情報による： LC50, *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ), 止水式試験, 96 h: > 1,000 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

類似物質の情報による： EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 止水式試験, 24 h: > 1,000 mg/l

水生植物に対する毒性

類似物質の情報による： NOEC(無影響濃度), *Desmodesmus subspicatus*, 止水式試験, 生長率阻害, 72 h: 1,640 mg/l

微生物に対する毒性

類似物質の情報による： EC50, 活性汚泥 (OECD 209), 呼吸抑制, 3 h: > 100 mg/l

土壌生物に対する毒性

EC50, *Eisenia fetida* (ミミズ), 14 d: > 1,000 mg/kg

#### 成分のデータ： パラフィンワックス及び塩素化パラフィンワックス

物質は、水生生物に対してきわめて高い急性毒性を示す(最も感受性の高い種ではLC50/EC50/EL50/LL50 <0.1 mg/L)。

魚類に対する急性および長期毒性

LC50, *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス), 止水式試験, 96 h: > 100 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 止水式試験, 48 h, 遊泳阻害: 0.037 mg/l

成分のデータ： トリス (1-クロロ-2-プロピル) リン酸

物質は、水生生物に対して軽度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50/EL50/LL50 10~100 mg/L)。

魚類に対する急性および長期毒性

LC50, *Lepomis macrochirus* (ブルーギル サンフィッシュ), 止水式試験, 96 h: 84 mg/l

水生無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 48 h, 遊泳阻害: 131 mg/l

水生植物に対する毒性

ErC50, *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻), 止水式試験, 生長率阻害, 96 h: 82 mg/l

微生物に対する毒性

EC50, 活性汚泥 (OECD 209), 呼吸抑制, 3 h: 784 mg/l

水生無脊椎動物に対する慢性毒性値

*Daphnia magna* (オオミジンコ), 半止水式試験, 21 d, 子孫の数, NOEC(無影響濃度): 32 mg/l, LOEC (最小影響濃度): > 32 mg/l

**残留性・分解性**

成分のデータ： (ポリメリック)MDI

水中および陸上環境では、物質のほとんどは水と反応して、安定しているように見える不溶性ポリウレアになる。大気環境では、計算と関連ジイソシアネートから類推すると、対流圏での物質の半減期は短いと考えられる。

OECD生分解性試験： 類似物質の情報による： 生分解	暴露時間	方法	10-d Window
0 %	28 d	OECD 302C試験	適用不可。

成分のデータ： ジメチルエーテル

物質は難分解性であると考えられる(環境中)。生分解性に関するOECD/EEC試験では易分解性にならなかった。

OECD生分解性試験： 生分解	暴露時間	方法	10-d Window
5 %	28 d	OECD 301A試験	不合格

成分のデータ： パラフィンワックス及び塩素化パラフィンワックス

環境中の分解は遅いと考えられる。

理論酸素要求量: 2.89 mg/mg

成分のデータ： トリス (1-クロロ-2-プロピル) リン酸

物質は難分解性であると考えられる(環境中)。生分解性に関するOECD/EEC試験では易分解性にならなかった。

OECD生分解性試験： 生分解	暴露時間	方法	10-d Window
14 %	28 d	OECD 301E試験	不合格
95 %	64 d	OECD 302A試験	適用不可。

**生体蓄積性**

成分のデータ： (ポリメリック)MDI

生体蓄積性：生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 またはLog Pow < 3)

水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予想される。

生物濃縮係数 (BCF)：生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 またはLog Pow < 3) 92; *Carassius carassius* (コイ)



成分のデータ：4,4'-メチレンジフェニルジイソシアネート

生体蓄積性：生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 またはLog Pow < 3)

水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予期される。

生物濃縮係数(BCF)：生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 またはLog Pow < 3) 92; Carassius carassius (コイ)

成分のデータ：ジメチルエーテル

生体蓄積性：生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 またはLog Pow < 3)

n - オクタノール/水分配係数(log Pow)：0.10 測定値

成分のデータ：パラフィンワックス及び塩素化パラフィンワックス

生体蓄積性：生物濃縮の可能性は低い。(BCF<100, Log Pow>7)

n - オクタノール/水分配係数(log Pow)：7.4 推定値。

成分のデータ：トリス(1-クロロ-2-プロピル)リン酸

生体蓄積性：生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 またはLog Pow < 3)

n - オクタノール/水分配係数(log Pow)：2.59 測定値

生物濃縮係数(BCF)：0.8 - 4.6; Carassius carassius (コイ); 測定値

**土壌中の移動性**成分のデータ：(ポリメリック)MDI

土壌中の移動性：水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予期される。

成分のデータ：4,4'-メチレンジフェニルジイソシアネート

土壌中の移動性：水中や陸上環境において、水と反応して不溶性のポリウレアを形成するため、移動性は限られると予期される。

成分のデータ：ジメチルエーテル

土壌中の移動性：土壌中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。

土壌中有機炭素/水分配係数(Koc)：1.29 - 14 推定値。

ヘンリー定数(H)：9.78E-04 atm-m<sup>3</sup>/mole; 25 °C 測定値

成分のデータ：パラフィンワックス及び塩素化パラフィンワックス

土壌中の移動性：ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。、土壌中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc>5000)

土壌中有機炭素/水分配係数(Koc)：> 5,000 推定値。

ヘンリー定数(H)：< 1.0E-07 atm-m<sup>3</sup>/mole; 25 °C 推定値。

成分のデータ：トリス(1-クロロ-2-プロピル)リン酸

土壌中の移動性：土壌中移動性がわずかである(Koc 2000~5000)。

土壌中有機炭素/水分配係数(Koc)：1,300 推定値。

ヘンリー定数(H)：< 1.35E-05 atm-m<sup>3</sup>/mole; 25 °C 推定値。

---

13. 廃 棄 上 の 注 意

---

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方条例に定められた方法に従って、焼却等の処理を行う。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。廃容器に内容物を十分除去した後に、法規に従い廃棄する。容器を火に投入しないこと。

---

14. 輸 送 上 の 注 意

---

## 道路・鉄道（ADR/RID）

正式品名：AEROSOLS

危険有害性クラス：2.1 国連番号：UN1950

数量制限

## 国際海上（IMDG）

正式品名：AEROSOLS

危険有害性クラス：2.1 国連番号：UN1950

EMS番号：F-D, S-U

海洋汚染物質：有り。

数量制限

## 国際航空（ICAO/IATA）

正式品名：AEROSOLS, FLAMMABLE

危険有害性クラス：2.1 国連番号：UN1950 Cargo Packing Instruction: 203

Passenger Packing Instruction: 203

数量制限

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。追加情報は、弊社の営業担当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

---

15. 適 用 法 令

---

労働安全衛生法：通知対象物；メチレンビス(4,1-フェニル)=ジイソシアネート 政令番号 599  
；ブタン 政令番号482  
変異原性物質；メチレンビス(4,1-フェニル)=ジイソシアネート  
公表対象物質；デルタメトリン 官報通し番号13071  
大気汚染防止法：有害大気汚染物質；ジメチルエーテル 政令番号 中環審答申の103  
有害大気汚染物質；メチレンビス(4-フェニルイソシアネート) 政令番号 中環審9次答申の240  
消 防 法：第四類第四石油類 危険等級Ⅲ  
毒物及び劇物取締法：該当しない  
船 舶 安 全 法：高压ガス類  
高 圧 ガ ス 保 安 法：液化ガス 引火性高压ガス  
化学物質排出把握：第一種指定化学物質；  
管 理 促 進 法：メチレンビス(4,1-フェニル)=ジイソシアネート 政令番号 1-448

労働安全衛生法（ISHL）リスト：この製品は有害性調査制度（化学物質登録制度）を遵守しています。

---

16. そ の 他

---

推奨する用途と制限：ウレタンポリマー製造用成分

記載内容の問合せ先：東京都千代田区永田町2丁目12番14号

（株）エービーシー商会・インサル事業部

電話番号 03-3507-7240 F A X 番号 03-3581-4946

発行又は改訂の理由：新商品発売のため

引用文献 : 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム  
製造メーカーからのSDS情報

#### 記

本文中の記載内容は、十分な配慮に基づき作成されていますが、その内容につき明示又は黙示の保証をするものではありません。